

浜の活力再生プラン

令和 6 ～ 1 0 年度

第 3 期

1 地域水産業再生委員会

組織名	碧南地区地域水産業再生委員会
代表者名	磯貝 政男 （大濱漁業協同組合 代表理事組合長）

再生委員会の構成員	大濱漁業協同組合、碧南市 愛知県（西三河農林水産事務所水産課）
オブザーバー	愛知県（農業水産局水産課） 愛知県漁業協同組合連合会

対象となる地域の範囲及び漁業の種類	愛知県碧南市（大濱漁業協同組合）（55 経営体、組合員総数 149 人） 伊勢湾、三河湾および渥美外海における沿岸漁業 ・中型まき網（2 経営体） ・船びき網（10 経営体） ・小型底びき網（6 経営体） ・さし網（8 経営体） ・あなごかご（5 経営体） ・採貝（17 経営体） ・その他（7 経営体） 令和 4 年 12 月末現在
-------------------	---

2 地域の現状

(1) 関連する水産業を取り巻く現状等

碧南地区の水産業は、いわし類を対象とした船びき網漁業を主体として、その他に、小型底びき網漁業、さし網漁業など様々な漁業が営まれ、多様な漁獲物が水揚げされており、令和 4 年の漁獲量は 2,274 トン、漁獲金額 8.8 億円となっている。

近年の漁場環境の変化に伴う水産資源の減少や、食の多様性、家庭における魚料理の煩雑さ等による消費量の減少とそれに伴う魚価の低迷など地域漁業は様々な問題に直面している。

加えて、ロシアのウクライナ侵攻や為替相場の円安傾向から、燃油や漁業資材等が高騰し、漁業経費が大きく増大している。定期的に船底清掃を行い、今まで以上に減速航行を行うことにより、燃油消費量の削減に努めているが、漁業収入の減少と漁業経費の増大により漁業経営は年々厳しくなっている。

また、碧南地区においては、漁業への新規就業者は少なく、就業者の高齢化が進み、組合員数も過去 5 か年において 26 名（14.9%）減少している。

(2) その他の関連する現状等

碧南市は、重要港湾に指定された衣浦港において臨海工業地域が発展し、窯業、鋳物、醸造などの伝統産業や、輸送用機器関連産業とともに商業、農業、漁業が営まれ、調和のとれた産業構造となっている。

そのような状況の中、大濱漁業協同組合は昭和 55 年 3 月 31 日に中部電力（株）碧南火力発電所建設に伴う漁業補償で共同漁業権を放棄した。このため、船びき網や小型底びき網などの漁船漁業が発達している。鮮魚が水揚げされる大濱漁港は三河湾の奥部にあり、伊勢湾や渥美外海の漁場からは遠く、大都市である名古屋市からは比較的近い位置にある。

3 活性化の取組方針

(1) 前期の浜の活力再生プランにかかる成果及び課題等

(2) 今期の浜の活力再生プランの基本方針

1	漁業収入向上のための取組
(1)	魚価向上や高付加価値化
①	イワシ類は、当地域の主力魚種となっているが、大浜漁港には急速冷凍機がなく、食用としての流通が難しいため低価格で養殖向け飼料として流通している。所得の向上、経営の安定を目指すには、鮮度維持によるイワシ類の魚価向上が必須である。その為、急速冷凍機を所有し、規模が大きく流通体制の整った県内の他市場の水揚げの定着を進める。
②	碧南市に関する水産物に関して魚価向上を図るため、毎年市内で開催される大浜てらまちウォーキングとタイアップした「漁業まつり」や「ふるさと納税返礼品」を利用した知名度向上に取り組む。
(2)	地域の特性を生かした資源管理による漁獲量の拡大 資源管理による漁獲量の拡大を図るために、イワシ類を対象とした資源管理協定を実施して漁業者のさらなる所得向上を目指す。また、ヨシエビの資源の維持増大のために栽培漁業についても取り組む。
2	漁業コスト削減のための取組 漁業者への資金負担軽減のために、設備導入の際に活用できる低金利融資制度や、積み立て制度を積極的に活用するように促していく。また、漁業者自身も自主的なエンジンメンテナンスや、省力・省エネに特化した機器の導入等で経費削減を進める。
3	漁村の活性化のための取組
①	碧南市に関する水産物に関して魚価向上を図るため、毎年市内で開催される大浜てらまちウォーキングとタイアップした「漁業まつり」や「ふるさと納税返礼品」を利用した知名度向上に取り組む。
②	市内漁業新規就業者が少なく、組合員も減少している中で都市部との交流や人材の確保を実施する必要がある。大浜漁業組合にて碧南地区の水産業の魅力を伝えるために取り組みを進める。

(3) 資源管理に係る取組

①	愛知県知事が認定した資源管理協定に基づく自主的資源管理措置の実施による資源保護 ・愛知県海域におけるイワシ類に関する愛知県ぱっち網漁業者組合の資源管理協定 ・愛知県海域におけるイワシ類に関する愛知県しらす・いかなご船びき網連合会の資源管理協定 ・愛知県伊勢湾海域における底魚資源に関する小型機船底びき網（まめ板網）漁業の資源管理協定 ・愛知県三河湾における底魚資源に関する大浜漁業協同組合小型機船底びき網（貝けた網、えびけた網及びまめ板網）漁業の資源管理協定
②	使用漁具の網目制限や数の規制遵守による資源へ与える負荷の抑制 ・愛知海区漁業調整委員会告示第7号（あなごかご漁業に関する告示）

(4) 具体的な取組内容

1 年目（令和6年度） 所得向上率（基準年比）5.2%

漁業収入向上のための取組	(1) 魚価向上や高付加価値化 ① 漁業者は、イワシ類を漁場が近く単価が高い知多地区へ水揚げすることについて、前期プランで整えた体制を維持するため、大浜地区や知多地区の漁業関係者と合意形成を図るため打ち合わせ等実施する必要がある。まずは打ち合わせでどのような内容を協議するのか
--------------	---

	検討する。 ② 漁業者は、毎年実施している「漁業まつり」において、漁協、漁業者、水産加工業者が協力してしらす干し、コノシロの酢漬け、あじの開き等の販売やカニ汁の提供を行い、購買層への碧南地区の水産業の周知に取り組む。また、碧南市は、「ふるさと納税返礼品」に関連した広報で、碧南地区の水産物をPRする取り組みを検討する。 (2) 地域の特性を生かした資源管理による漁獲量の拡大 ① 漁業者は、主力魚種であるイワシ類をはじめ、各種魚種や漁業種類ごとに定期休漁等の措置を定めた資源管理協定を順守して資源保護を行うことにより、資源の維持・増大と漁獲量の安定を図る。 ② 漁業者は、イワシ類について、シラスの来遊状況に応じて、伊勢・三河湾内における禁漁を行い、解禁を遅らせることで、漁獲量が増えることが県水産試験場により示されているため漁業者間の合意形成を図る。 ③ 小型底びき網漁業者は、栽培漁業の取り組みとして、矢作川河口域にヨシエビの放流をどの程度実施していけばよいのか協議する。
漁業コスト削減のための取組	① 大濱漁業協同組合は、漁業者に対し漁業経営セーフティネット構築事業への加入を愛知県漁連等と共に促進する。 ② 漁業者は、自主的に定期的な船底清掃やエンジンメンテナンスを行い、減速航行や積載物の整理により、燃油使用量を削減し、漁業コストの削減に取り組んでいく。また、生産性の向上や省力・省エネのため、漁船購入や機関換装を行う際には、省エネ機器の導入を図るため導入計画を作成する。 ③ 漁業者は、省エネ機器を導入する際には、漁業近代化資金等の制度資金を活用して、漁業者の資金負担の軽減を図る。
漁村の活性化のための取組	① 「漁業まつり」について、漁協女性部が主体となり、地域の水産加工業者の協力を得ながら、しらす干し、コノシロの酢漬け、あじの開き等のPR販売やカニ汁の祭り参加者への提供により碧南地区の水産物の魅力を伝える取り組みを行う。 また、碧南市は、「ふるさと納税返礼品」に関連した広報で、碧南地区の水産物をPRする取り組みを検討する。 ② 大濱漁業協同組合は、碧南市と連携し、都市部との交流や人材の確保を目的とした、漁業体験研修を実施し、碧南地区の水産業の魅力を伝えるとともに、都市部からの漁業の担い手の確保についてもその可能性を検討する。
活用する支援措置等	・水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業（国） ・競争力強化型機器等導入緊急対策事業（国） ・漁業制度資金（漁業近代化資金）（国・県） ・漁業経営セーフティネット構築事業（国） ・漁業生産力強化総合対策事業（県） ・営漁事業推進補助事業（市） ・碧南市漁業まつり補助事業（市）

2 年目（令和 7 年度） 所得向上率（基準年比） 6. 7 %

漁業収入向上のための取組	(1) 魚価向上や高付加価値化 ① 漁業者は、イワシ類を漁場が近く単価が高い知多地区へ水揚げすることについて、前期プランで整えた体制を維持するため、大濱地区や知多地区の漁業関係者と打ち合わせ等で合意形成を図る。 ② 漁業者は、「漁業まつり」において、漁協、漁業者、水産加工業者が協力してしらす干し、コノシロの酢漬け、あじの開き等の販売や
--------------	---

	カニ汁の提供を行い、購買層への碧南地区の水産業の周知に取り組む。また、碧南市は、「ふるさと納税返礼品」に関連した広報で、碧南地区の水産物をPRする準備を進める。 (2) 地域の特性を生かした資源管理による漁獲量の拡大 ① 漁業者は、主力魚種であるイワシ類をはじめ、各種魚種や漁業種類ごとに定期休漁等の措置を定めた資源管理協定を順守して資源保護を行うことにより、資源の維持・増大と漁獲量の安定を図る。 ② 漁業者は、イワシ類について、シラスの来遊状況に応じて、伊勢・三河湾内における禁漁を行い、解禁を遅らせることで、漁獲量の増産を図る。また、課題の検討を行う。 ③ 小型底びき網漁業者は、栽培漁業の取り組みとして、矢作川河口域にヨシエビの放流を行い、資源の維持増大に取り組む。
漁業コスト削減のための取組	① 大濱漁業協同組合は、漁業者に対し漁業経営セーフティネット構築事業への加入を愛知県漁連等と共に促進する。 ② 漁業者は、自主的に定期的な船底清掃やエンジンメンテナンスを行い、減速航行や積載物の整理により、燃油使用量を削減し、漁業コストの削減に取り組んでいく。また、生産性の向上や省力・省エネのため、漁船購入や機関換装を行う際に、導入計画に基づいて省エネ機器の導入を図り、経費の削減に努める。 ③ 漁業者は、省エネ機器を導入する際には、漁業近代化資金等の制度資金を活用して、漁業者の資金負担の軽減を図る。
漁村の活性化のための取組	① 「漁業まつり」について、漁協女性部が主体となり、地域の水産加工業者の協力を得ながら、しらす干し、コノシロの酢漬け、あじの開き等のPR販売やカニ汁の祭り参加者への提供により碧南地区の水産物の魅力を伝える取り組みを行う。 また、碧南市は、「ふるさと納税返礼品」に関連した広報で、碧南地区の水産物をPRする準備を進める（再掲）。 ② 大濱漁業協同組合は、碧南市や愛知県と連携し、都市部との交流や人材の確保を目的とした、漁業体験を実施し、碧南地区の水産業の魅力を伝える。
活用する支援措置等	・水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業（国） ・競争力強化型機器等導入緊急対策事業（国） ・漁業制度資金（漁業近代化資金）（国・県） ・漁業経営セーフティネット構築事業（国） ・漁業生産力強化総合対策事業（県） ・営漁事業推進補助事業（市） ・碧南市漁業まつり補助事業（市）

3 年 目（令和 8 年度） 所得向上率（基準年比） 8. 1 %

漁業収入向上のための取組	(1) 魚価向上や高付加価値化 ① 漁業者は、イワシ類を漁場が近く単価が高い知多地区へ水揚げすることについて、課題が生じた場合には見直しを図り、継続的に、魚価向上に取り組む。 ② 漁業者は、「漁業まつり」において、漁協、漁業者、水産加工業者が協力してしらす干し、コノシロの酢漬け、あじの開き等の販売やカニ汁の提供を行い、購買層への碧南地区の水産業の周知に取り組む。また、碧南市は、「ふるさと納税返礼品」に関連した広報で、碧南地区の水産物をPRする取組を実施する。 (2) 地域の特性を生かした資源管理による漁獲量の拡大
--------------	---

	① 漁業者は、主力魚種であるイワシ類をはじめ、各種魚種や漁業種類ごとに定期休漁等の措置を定めた資源管理協定を順守して資源保護を行うことにより、資源の維持・増大と漁獲量の安定を図る。 ② 漁業者は、イワシ類について、シラスの来遊状況や前年度の課題の検討結果をもとに、伊勢・三河湾内における禁漁を行い、解禁を遅らせることで、漁獲量の増産に取り組む。 ③ 小型底びき網漁業者は、栽培漁業の取り組みとして、矢作川河口域にヨシエビの放流を行い、資源の維持増大に取り組む。資源の維持増大状況を確認し、より効果的な放流方法を検討する。
漁業コスト削減のための取組	① 大濱漁業協同組合は、漁業者に対し漁業経営セーフティネット構築事業への加入を愛知県漁連等と共に促進する。 ② 漁業者は、自主的に定期的な船底清掃やエンジンメンテナンスを行い、減速航行や積載物の整理により、燃油使用量を削減し、漁業コストの削減に取り組んでいく。また、生産性の向上や省力・省エネのため、漁船購入や機関換装を行う際には、省エネ機器の導入を図り、経費の削減に努めるものとする。 ③ 漁業者は省エネ機器を導入する際には、漁業近代化資金等の制度資金を活用して、漁業者の資金負担の軽減を図る。
漁村の活性化のための取組	① 「漁業まつり」について、漁協女性部が主体となり、地域の水産加工業者の協力を得ながら、しらす干し、コノシロの酢漬け、あじの開き等のPR販売やカニ汁の祭り参加者への提供により碧南地区の水産物の魅力を伝える取組を行う。 また、碧南市は、「ふるさと納税返礼品」に関連した広報で、碧南地区の水産物をPRする取組を実施する。 ② 大濱漁業協同組合は、碧南市や愛知県と連携し、都市部との交流や人材の確保を目的とした、漁業体験を実施し、碧南地区の水産物の魅力を伝える。
活用する支援措置等	・水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業（国） ・競争力強化型機器等導入緊急対策事業（国） ・漁業制度資金（漁業近代化資金）（国・県） ・漁業経営セーフティネット構築事業（国） ・漁業生産力強化総合対策事業（県） ・営漁事業推進補助事業（市） ・碧南市漁業まつり補助事業（市）

4 年目（令和 9 年度） 所得向上率（基準年比） 9. 5 %

漁業収入向上のための取組	(1) 魚価向上や高付加価値化 ① 漁業者は、イワシ類を漁場が近く単価が高い知多地区へ水揚げすることについて、課題が生じた場合には見直しを図り、継続的に、魚価向上に取り組む。 ② 漁業者は、「漁業まつり」において、漁協、漁業者、水産加工業者が協力してしらす干し、コノシロの酢漬け、あじの開き等の販売やカニ汁の提供を行い、購買層への碧南地区の水産物の周知に取り組む。また、碧南市は、「ふるさと納税返礼品」に関連した広報で、碧南地区の水産物のPRする取組を実施する。 (2) 地域の特性を生かした資源管理による漁獲量の拡大 ① 漁業者は、主力魚種であるイワシ類をはじめ、各種魚種や漁業種類ごとに定期休漁等の措置を定めた資源管理協定を順守して資源保護を行うことにより、資源の維持・増大と漁獲量の安定を図る。 ② 漁業者は、イワシ類について、シラスの来遊状況や前年度の課題の検討結果をもとに、伊勢・三河湾内における禁漁を行い、解禁を
--------------	--

	遅らせることで、漁獲量の増産に取り組む。 ③ 小型底びき網漁業者は、栽培漁業の取り組みとして、矢作川河口域に、前年の検討を踏まえてヨシエビの放流を行い、資源の維持増大に取り組む。資源の維持増大状況を確認し、より効果的な放流方法を検討する。
漁業コスト削減のための取組	① 大濱漁業協同組合は、漁業者に対し漁業経営セーフティネット構築事業への加入を愛知県漁連等と共に促進する。 ② 漁業者は、自主的に定期的な船底清掃やエンジンメンテナンスを行い、減速航行や積載物の整理により、燃油使用量を削減し、漁業コストの削減に取り組んでいく。また、生産性の向上や省力・省エネのため、漁船購入や機関換装を行う際には、省エネ機器の導入を図り、経費の削減に努める。 ③ 漁業者は、省エネ機器を導入する際には、漁業近代化資金等の制度資金を活用して、漁業者の資金負担の軽減を図る。
漁村の活性化のための取組	① 「漁業まつり」について、漁協女性部が主体となり、地域の水産加工業者の協力を得ながら、しらす干し、コノシロの酢漬け、あじの開き等のPR販売やカニ汁の祭り参加者への提供により碧南地区の水産物の魅力を伝える取組を行う。 また、碧南市は、「ふるさと納税返礼品」に関連した広報で、碧南地区の水産物をPRする取組を実施する。 ② 大濱漁業協同組合は、碧南市や愛知県と連携し、都市部との交流や人材の確保を目的とした、漁業体験を実施し、碧南地区の水産業の魅力を伝える。
活用する支援措置等	・水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業（国） ・競争力強化型機器等導入緊急対策事業（国） ・漁業制度資金（漁業近代化資金）（国・県） ・漁業経営セーフティネット構築事業（国） ・漁業生産力強化総合対策事業（県） ・営漁事業推進補助事業（市） ・碧南市漁業まつり補助事業（市）

5 年目（令和 1 0 年度） 所得向上率（基準年比） 1 1 . 0 %

漁業収入向上のための取組	(1) 魚価向上や高付加価値化 ① 漁業者は、イワシ類を漁場が近く単価が高い知多地区へ水揚げすることについて、課題が生じた場合には見直しを図り、継続的に、魚価向上に取り組むとともに、今期の取組を評価する。 ② 漁業者は、「漁業まつり」において、漁協、漁業者、水産加工業者が協力してしらす干し、コノシロの酢漬け、あじの開き等の販売やカニ汁の提供を行い、購買層への碧南地区の水産業の周知に取り組む。また、碧南市は、「ふるさと納税返礼品」に関連した広報で、碧南地区の水産物のPRを行う。 (2) 地域の特性を生かした資源管理による漁獲量の拡大 ① 主力魚種であるイワシ類をはじめ、各種魚種や漁業種類ごとに定期休漁等の措置を定めた資源管理協定を順守して資源保護を行うことにより、資源の維持・増大と獲量の安定を図る。 ② イワシ類については、シラスの来遊状況や前年度の課題の検討結果をもとに、伊勢・三河湾内における禁漁を行い、解禁を遅らせることで、漁獲量の増産に取り組む。 ③ 小型底びき網漁業者は、栽培漁業の取り組みとして、矢作川河口域
--------------	---

	にヨシエビの放流を行い、資源の維持増大に取り組む。資源の維持増大状況を確認し、来年度以降どれだけ放流する必要があるかさらなる検討を行いながら、資源の維持増大を図る。
漁業コスト削減のための取組	① 大濱漁業協同組合は、漁業者に対し漁業経営セーフティネット構築事業への加入を愛知県漁連等と共に促進する。 ② 漁業者は、自主的に定期的な船底清掃やエンジンメンテナンスを行い、減速航行や積載物の整理により、燃油使用量を削減し、漁業コストの削減に取り組んでいく。また、生産性の向上や省力・省エネのため、漁船購入や機関換装を行う際には、省エネ機器の導入を図り、経費の削減に努めるものとする。 ③ 省エネ機器を導入する際には、漁業近代化資金等の制度資金を活用して、漁業者の資金負担の軽減を図る。
漁村の活性化のための取組	① 「漁業まつり」について、漁協女性部が主体となり、地域の水産加工業者の協力を得ながら、しらす干し、コノシロの酢漬け、あじの開き等のPR販売やカニ汁の祭り参加者への提供により碧南地区の水産物の魅力を伝える取り組みを行う。 また、碧南市は、「ふるさと納税返礼品」に関連した広報で、碧南地区の水産物をPRした結果を踏まえて見直しを図る。 ② 大濱漁業協同組合は、碧南市や愛知県と連携し、都市部との交流や人材の確保を目的とした、漁業体験を実施し、碧南地区の水産物の魅力を伝える。
活用する支援措置等	・水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業（国） ・競争力強化型機器等導入緊急対策事業（国） ・漁業制度資金（漁業近代化資金）（国・県） ・漁業経営セーフティネット構築事業（国） ・漁業生産力強化総合対策事業（県） ・営漁事業推進補助事業（市） ・碧南市漁業まつり補助事業（市）

（５）関係機関との連携

行政（愛知県農業水産局水産課）、研究機関（愛知県水産試験場）やその他水産関係団体として、愛知県漁業協同組合連合会、東日本信用漁業協同組合連合会愛知支店と連携を図り、問題解決に向けた取り組みを実施していくとともに、６次産業化や碧南地区の水産物のブランド力アップのために碧南市役所の観光部局をもつ商工課との連携も図っていく。

（６）取組の評価・分析の方法・実施体制

碧南地区地域水産業再生員会は、碧南市の水産業の強化、発展のために浜の活力再生プランを策定し、漁業者の所得の向上に取り組んでいる。

再生委員会には「担当者会議」と「会員会議」が置かれており、「担当者員会議」において各取り組みの実施状況について現状分析や進捗管理等の評価を行い、会員会議へ報告し、「会員会議」において今後の取り組み方針について、必要があれば取り組み内容の修正等の助言を行うことにより５年間で所得の向上１０％の達成をめざす。

4 目標

(1) 所得目標

漁業者の所得の向上 10%以上		

(2) 上記の算出方法及びその妥当性

--

(3) 所得目標以外の成果目標

船びき網漁獲物の単価向上	基準年	平成30年から 令和4年の 5中3平均：70.1 千円/kg
	目標年	令和10年度：71.5 千円/kg

「漁業まつり」の来場者数	基準年	平成30年から 令和4年の 5中3平均：833 人
	目標年	令和10年度：2,500 人

(4) 上記の算出方法及びその妥当性

所得目標の構成要素のうち、所得向上への寄与が大きいことから船びき網漁獲物の単価向上を所得目標以外の成果目標とした。 水産試験場と連携して、来遊資源を最大限利用するための、解禁日の調整について、業界が一体となって取り組むことが定着してきていること、令和4年度に水産業強化支援事業により、新たに給氷・貯氷施設を整備して、氷の安定的使用が可能になったこと、しらすを除く、前期プランで整えたイワシ類を単価の高い知多地区で水揚げする体制を維持すること等、漁業収入向上のための取組による、漁獲量の見込みや平均単価の見込みから目標年の単価を計算したため妥当と考える。 ＜漁村活性化の取組に関する算出方法及びその妥当性＞ 漁村活性化を図るうえで、地域の水産物のPRが重要であることから「漁業まつり」の来場者数を成果目標とする。来場者数は、提供した試食の数で把握を行う。来場者数は過去5年間（5中の3の平均）833人を最終年度に2,500人の来場を目指す。なお、前期浜プラン期間中に新型コロナウイルス感染症拡大の影響で減少した来場者が、直近では回復傾向にあることから無理がなく妥当と判断した。

5 関連施策

活用を予定している関連施策名とその内容及びプランとの関係性

事業名	事業内容及び浜の活力再生プランとの関係性
水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業	中核的漁業者へのリース方式による漁船の導入支援 中古漁船のリース
競争力強化型機器等導入緊急対策事業	生産力向上、省力・省コスト化に資する漁業用機器等の導入支援（船内機）
漁業近代化資金	漁業者の資本整備の高度化及び近代化を図るため、漁業者への利子補給金を補助
漁業経営セーフティネット構築事業	燃油の価格が上昇した場合に、その影響を緩和するための備えとして、漁業者と国の拠出により、補填金を交付し経営の安定化を図る事業
営漁事業推進補助事業	漁業の活性化につながる取り組みへの支援
碧南市漁業まつり補助事業	毎年１０月に開催される漁業まつりへの補助 (魚食普及による魚価の向上を目指す)